

平成27年県の施策に関する県民意識調査結果(概要)

■調査の概要■

1 調査の目的

「いわて県民計画」に基づいて実施する県の施策について、県民がどの程度の重要性を感じ、現在の状況にどの程度満足しているか等を把握し、今後、県が重点的に取り組むべき施策の方向性等を明らかにすることを目的とする。

2 調査の概要

- ① 調査対象 県内に居住する20歳以上の男女
- ② 調査対象者数 5,000人
- ③ 抽出方法 選挙人名簿からの層化二段無作為抽出
- ④ 調査方法 設問票によるアンケート調査（郵送法）
- ⑤ 調査時期 平成27年1～2月
- ⑥ 調査項目
 ア 生活全般の満足度
 イ 「いわて県民計画」の7つの政策に関連する46項目に係る重要度、満足度について
 ウ 県民の普段の行動について（災害への備え等）
 エ 「いわて県民計画」の進め方等についての意見（「人口減少で重要な政策」と「今後の居住地」）
- ⑦ 有効回収率 71.1%（3,556人／5,000人）
- ⑧ 回答者の属性

【男女別】	回答者数	割合
男性	1,449	(40.7)
女性	2,040	(57.4)
不明	67	(1.9)

【居住地別】	回答者数	割合
県央広域振興圏	1,010	(28.4)
県南広域振興圏	1,092	(30.7)
沿岸広域振興圏	834	(23.5)
県北広域振興圏	620	(17.4)

【年齢別】	回答者数	割合
20～29歳	243	(6.8)
30～39歳	365	(10.3)
40～49歳	512	(14.4)
50～59歳	665	(18.7)
60～69歳	824	(23.2)
70歳以上	884	(24.8)
不明	63	(1.8)

【職業別】	回答者数	割合
自営業主	297	(8.3)
家族従業者	171	(4.8)
会社役員・団体役員	198	(5.6)
常用雇用者	907	(25.5)
臨時雇用者	461	(13.0)
学生	27	(0.7)
専業主婦(主夫)	427	(12.0)
無職	810	(22.8)
その他	159	(4.5)
不明	99	(2.8)

()内は%

3 用語の解説

重要度(平均)：「重要」を5点、「やや重要」を4点、「どちらともいえない」を3点、「あまり重要でない」を2点、「重要でない」を1点とし、それぞれの選択者数を乗じた合計点を、全体の回答者数（「わからない」、「不明(無回答)」を除く。）で除し、数値化したもの。

満足度(平均)：「満足」を5点、「やや満足」を4点、「どちらともいえない」を3点、「やや不満」を2点、「不満」を1点とし、それぞれの選択者数を乗じた合計点を、全体の回答者数（「わからない」、「不明(無回答)」を除く。）で除し、数値化したもの。

ニーズ度： 重要度(平均)－満足度(平均)

4 その他

本調査結果は、下記の調査統計課ホームページからダウンロードできます。

<http://www3.pref.iwate.jp/webdb/view/outside/s14Tokei/top.html>

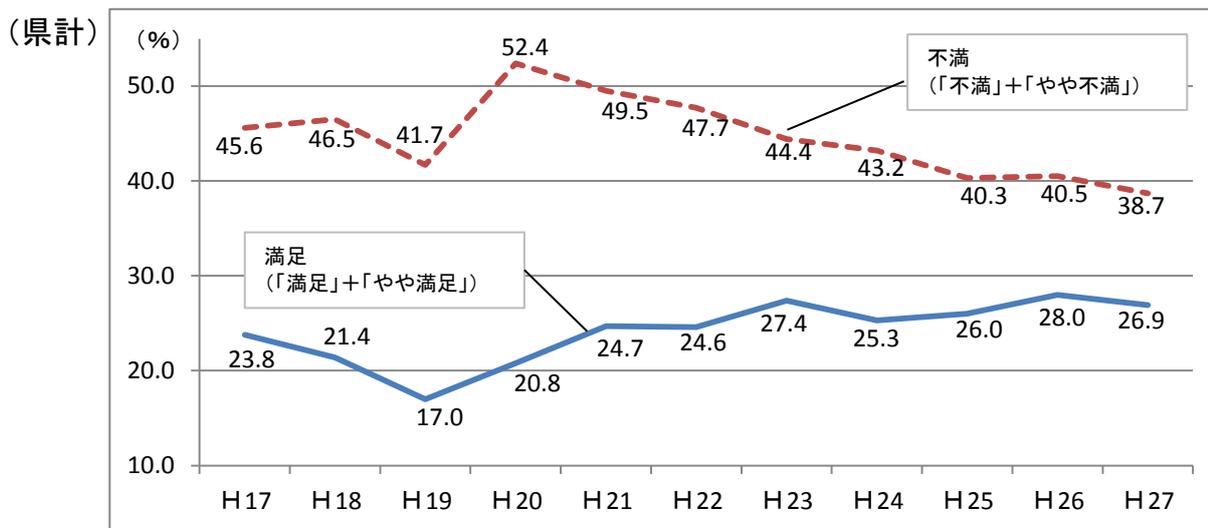


■調査結果の概要■

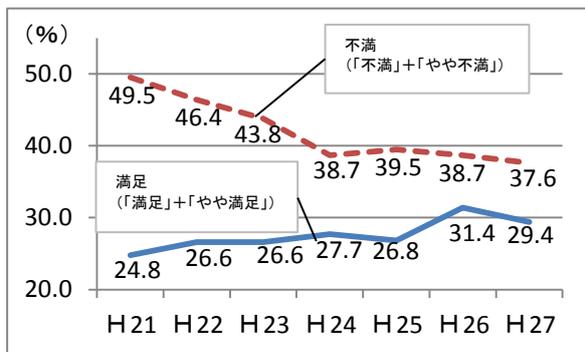
問1 あなたは、今の生活全般について、どのように感じていますか。

沿岸広域振興圏で満足率が上昇

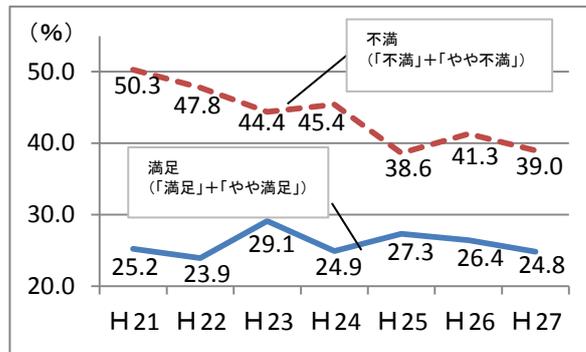
- 県計では、満足（「満足」+「やや満足」）の割合が26.9%となっており、不満（「不満」+「やや不満」）の割合は38.7%となっている。
また、平成26年調査と比べると、満足（「満足」+「やや満足」）の割合は28.0%から1.1ポイント低下しているものの、不満（「不満」+「やや不満」）の割合も40.5%から1.8ポイント低下している。
- 広域振興圏別にみると、沿岸では2年連続で満足率が上昇し、不満率が低下している。



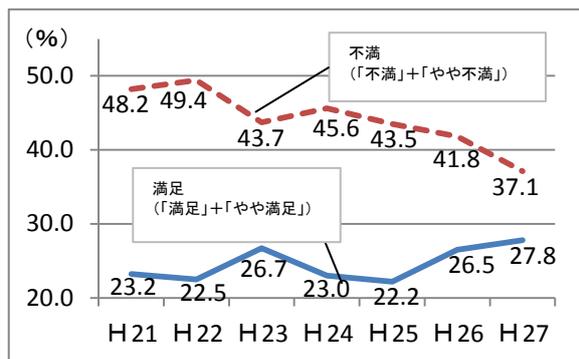
(県央広域振興圏)



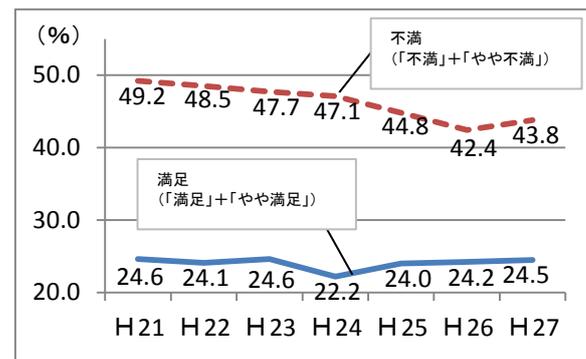
(県南広域振興圏)



(沿岸広域振興圏)



(県北広域振興圏)



問2 あなたの暮らしにとって、調査項目のような状態を実現することが、どれくらい重要と考えますか。

あなたの現在の暮らしからみて、調査項目の状態についてどれくらい満足していますか。

【重要度】

- 重要度の高い項目は、「適切な医療体制」、「高齢者や障がい者に安心な地域づくり」、「交通事故の少ない社会づくり」となっている。
- 一方、「海外での県産品の販路拡大」、「外国人も暮らしやすい地域社会」、「地域や学校での文化芸術活動」などの項目の重要度が低くなっている。

重要度が高い項目

順位	(参考) 26年順位	7つの政策	番号	項目
1	1	③	14	適切な医療体制
2	2	③	17	高齢者や障がい者に安心な地域づくり
3	3	④	20	交通事故の少ない社会づくり
4	4	④	19	犯罪への不安の少ない社会づくり
5	6	③	16	安心な子育て環境整備

重要度が低い項目

順位	(参考) 26年順位	7つの政策	番号	項目
46	46	①	7	海外での県産品の販路拡大
45	45	⑤	36	外国人も暮らしやすい地域社会
44	44	⑤	35	地域や学校での文化芸術活動
43	39	⑤	34	郷土愛の向上に向けた取組
42	41	⑤	37	県出身スポーツ選手の活躍

※項目は設問文を要約して記載している。(以下、同様)

【満足度】

- 満足度の高い項目は、「ごみ減量やリサイクルの定着」、「地域や学校での文化芸術活動」、「県出身スポーツ選手の活躍」となっている。
- 一方、「安定した就職環境」、「農林水産業の担い手確保」、「商店街のにぎわい」に関する項目の満足度が低くなっている。

満足度が高い項目

順位	(参考) 26年順位	7つの政策	番号	項目
1	1	⑥	39	ごみ減量やリサイクルの定着
2	2	⑤	35	地域や学校での文化芸術活動
3	3	⑤	37	県出身スポーツ選手の活躍
4	4	④	19	犯罪への不安の少ない社会づくり
5	9	⑦	41	交通や物流の拠点に通じる道路整備

満足度が低い項目

順位	(参考) 26年順位	7つの政策	番号	項目
46	46	①	8	安定した就職環境
45	45	②	9	農林水産業の担い手確保
44	44	①	5	商店街のにぎわい
43	43	①	2	次世代を担う産業人材育成
42	41	①	6	中小企業の経営力の向上

【ニーズ度】

- ニーズ度(重要度－満足度)が高い項目は、「安定した就職環境」、「高齢者や障がい者に安心な地域づくり」、「安心な子育て環境整備」となっている。
- 一方、「地域や学校での文化芸術活動」、「県出身スポーツ選手の活躍」、「外国人も暮らしやすい地域社会」などのニーズ度が低くなっている。

ニーズ度が高い項目

順位	(参考) 26年順位	7つの政策	番号	項目
1	1	①	8	安定した就職環境
2	2	③	17	高齢者や障がい者に安心な地域づくり
3	5	③	16	安心な子育て環境整備
4	4	②	9	農林水産業の担い手確保
5	6	①	5	商店街のにぎわい

ニーズ度が低い項目

順位	(参考) 26年順位	7つの政策	番号	項目
46	46	⑤	35	地域や学校での文化芸術活動
45	45	⑤	37	県出身スポーツ選手の活躍
44	42	⑤	36	外国人も暮らしやすい地域社会
43	44	⑦	46	通信ネットワークの活用
42	40	⑤	34	郷土愛の向上に向けた取組

7つの政策

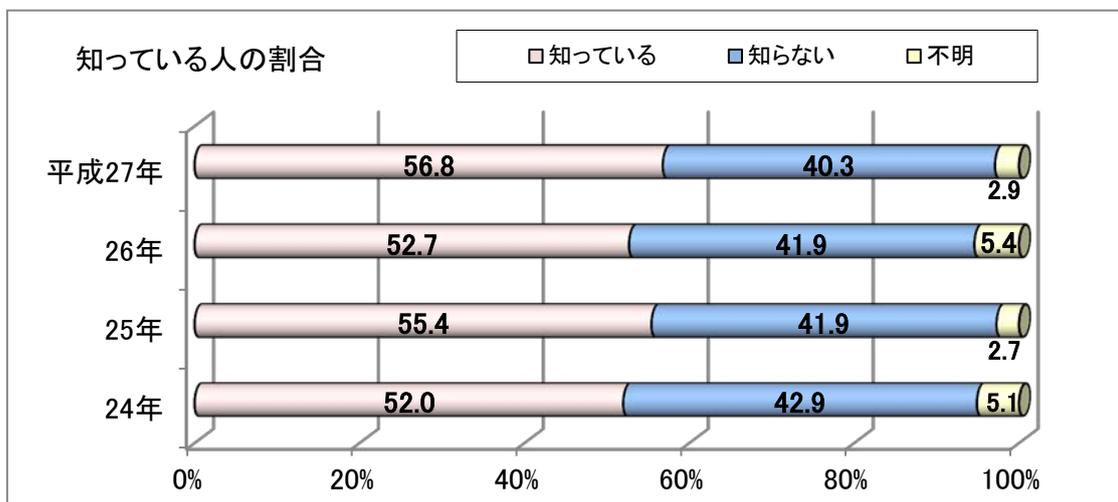
- ①: 産業・雇用～「産業創造県いわて」の実現～
- ②: 農林水産業～「食と緑の創造県いわて」の実現～
- ③: 医療・子育て・福祉～「共に生きるいわて」の実現～
- ④: 安全・安心～「安心して、心豊かに暮らせるいわて」の実現～
- ⑤: 教育・文化～「人材・文化芸術の宝庫いわて」の実現～
- ⑥: 環境～「環境王国いわて」の実現～
- ⑦: 社会資本・公共交通・情報基盤～「いわてを支える基盤」の実現～

問3-1 大きな病院と診療所(開業医)の役割分担について

大きな病院と診療所(開業医)の役割分担について知っていますか

役割分担について知っている人は6割弱

○ 大きな病院と診療所(開業医)の役割分担について知っている人の割合は56.8%となっている。



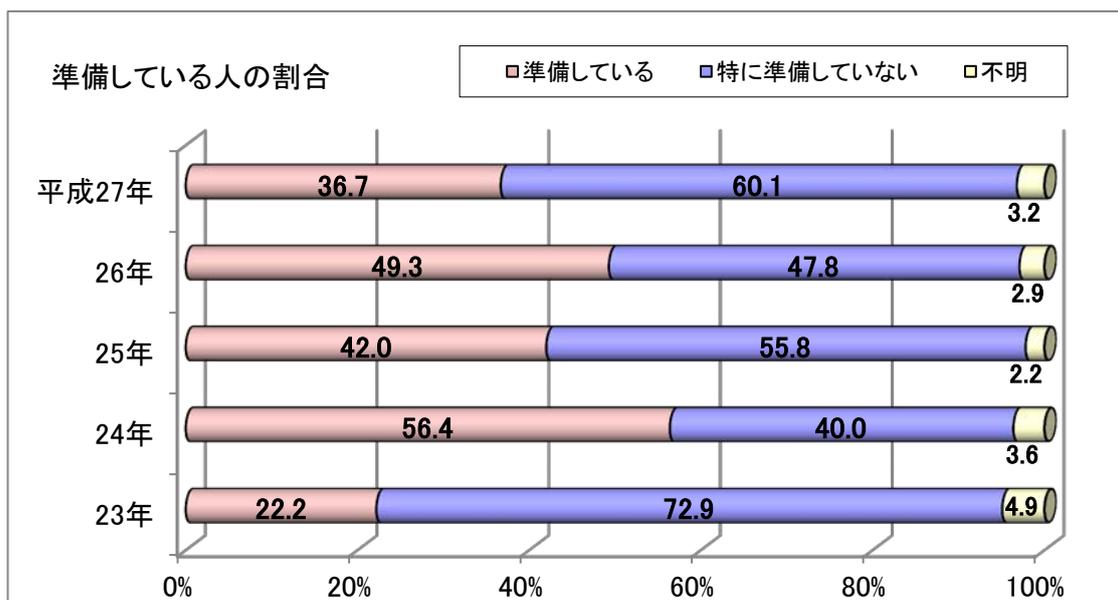
注:平成23年は調査なし。

問3-2 災害への対応について

普段から災害に備え、何らかの準備をしていますか

4割弱の人が災害に備えた何らかの準備を行っている

○ 普段から災害に備え、何らかの準備をしている人の割合は36.7%となっている。

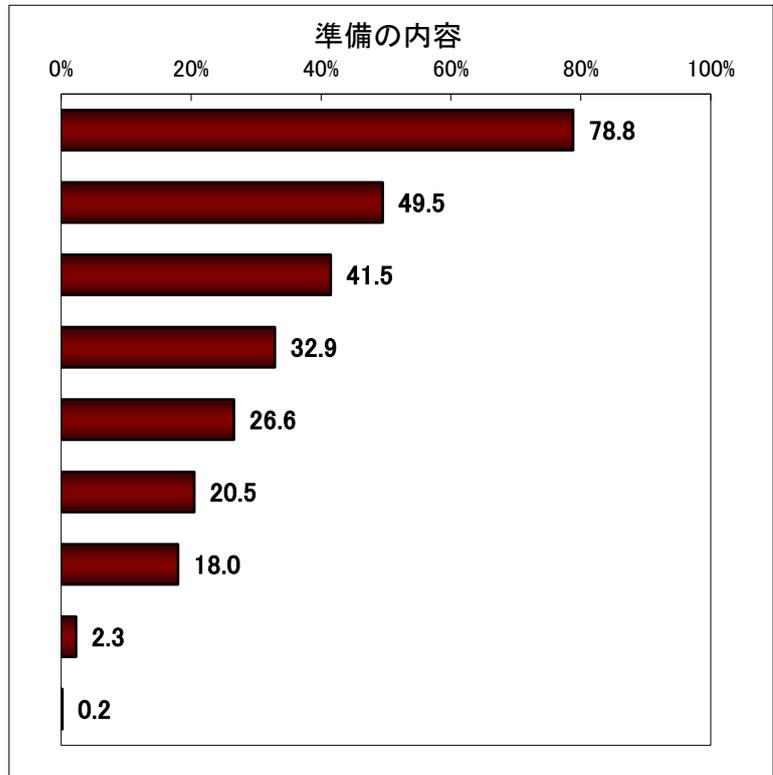


注:平成23年は東日本大震災津波発生前に調査を実施。

準備している場合

○ 準備している内容は、「家族分の食料や水、懐中電灯などの非常持出品を常に確保している」が78.8%で最も多く、「家具などの転倒防止措置を行っている」が49.5%、「家族で、自分の住む地域の避難所・避難路や危険箇所などを実際に歩いて確認している」が41.5%などとなっている。

- 1 家族分の食料や水、懐中電灯などの非常持出品を常に確保している
- 2 家具などの転倒防止措置を行っている
- 3 家族で、自分の住む地域の避難所・避難路や危険箇所などを実際に歩いて確認している
- 4 家族で年1回以上、災害が起きた場合の具体的対応(連絡方法、集合場所)などを話し合っている
- 5 地域で実施される防災訓練に年1回以上参加している
- 6 自分が住む住宅の耐震化について措置を行っている
- 7 地域の自主防災組織に加入している
- 8 その他
- 9 不明



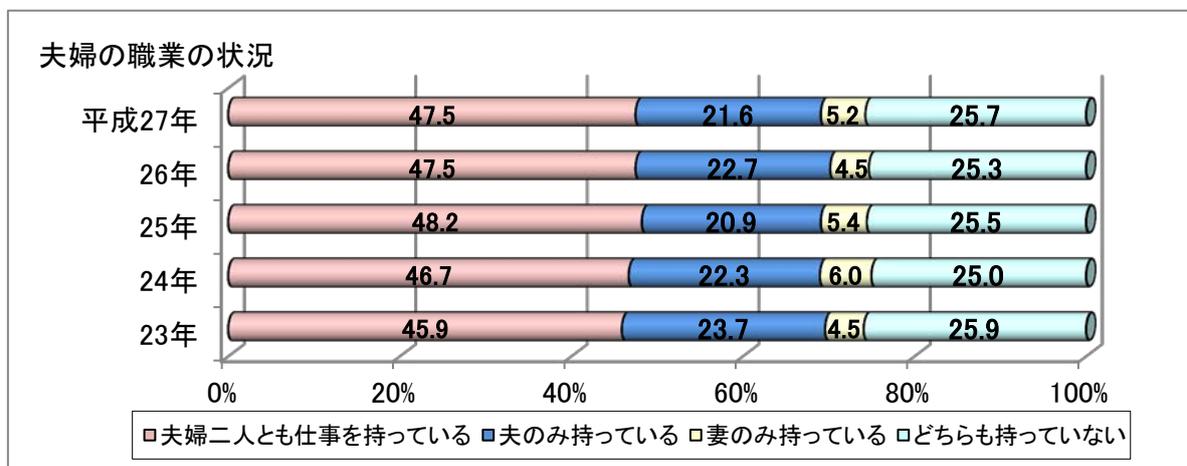
問3-3 家事関連時間について

夫婦世帯の方のみ

お二人とも職業をお持ちですか

夫婦二人とも仕事を持っている世帯は5割弱

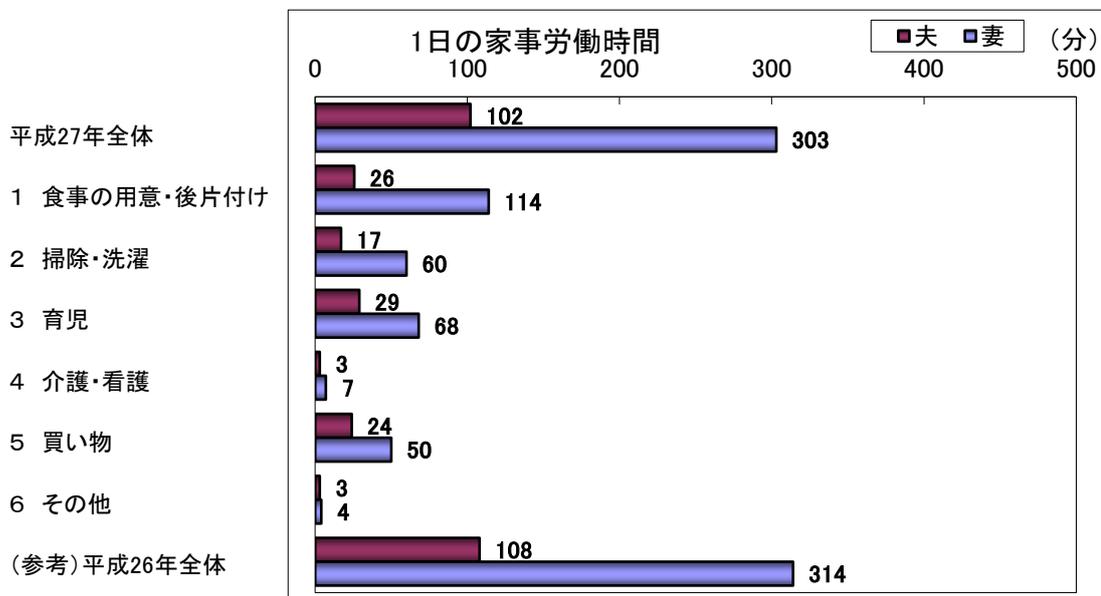
○ 夫婦世帯で二人とも仕事を持っている人の割合は47.5%となっている。



あなたとあなたの夫(妻)は、普段、どれくらい家事を行っていますか

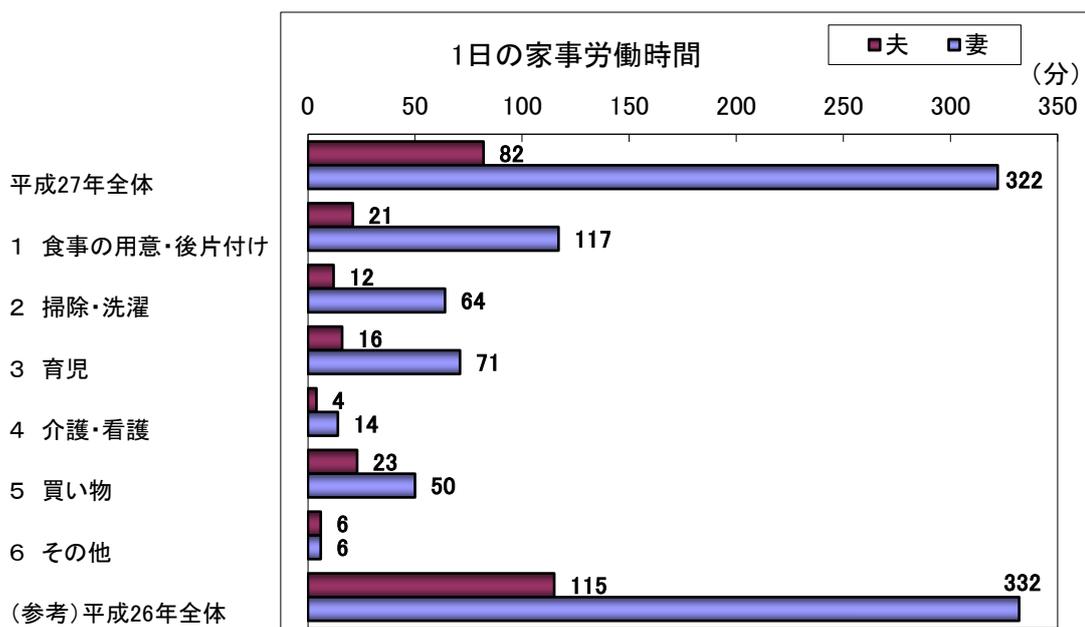
①夫婦二人とも仕事を持っている世帯

- 共働き世帯の「夫」の家事労働時間は102分、「妻」の家事労働時間は303分となっており、「夫」の家事労働時間は「妻」の33.7%となっている。
- 妻の1日の家事労働時間で最も長い時間を費やしているのは「食事の用意・後片付け」であり、次いで「育児」、「掃除・洗濯」の順となっている。



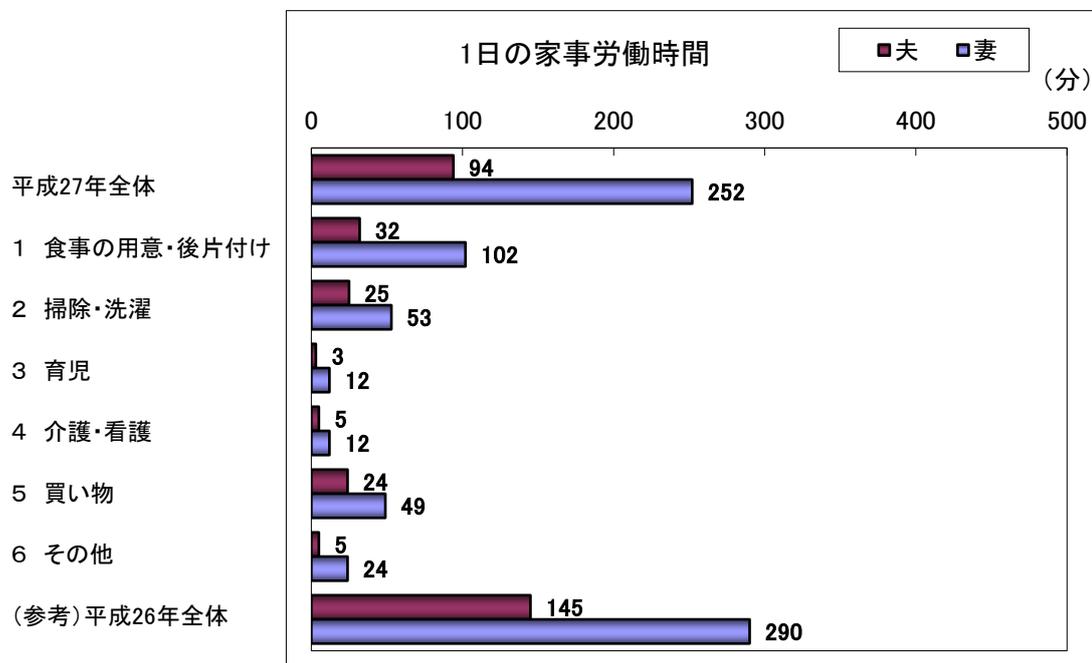
②夫のみ仕事を持っている世帯

- 夫のみ仕事を持っている世帯の「夫」の家事労働時間は82分、「妻」の家事労働時間は322分となっており、「夫」の家事労働時間は「妻」の25.5%となっている。
- 妻の1日の家事労働時間で最も長い時間を費やしているのは「食事の用意・後片付け」であり、次いで「育児」、「掃除・洗濯」の順となっている。



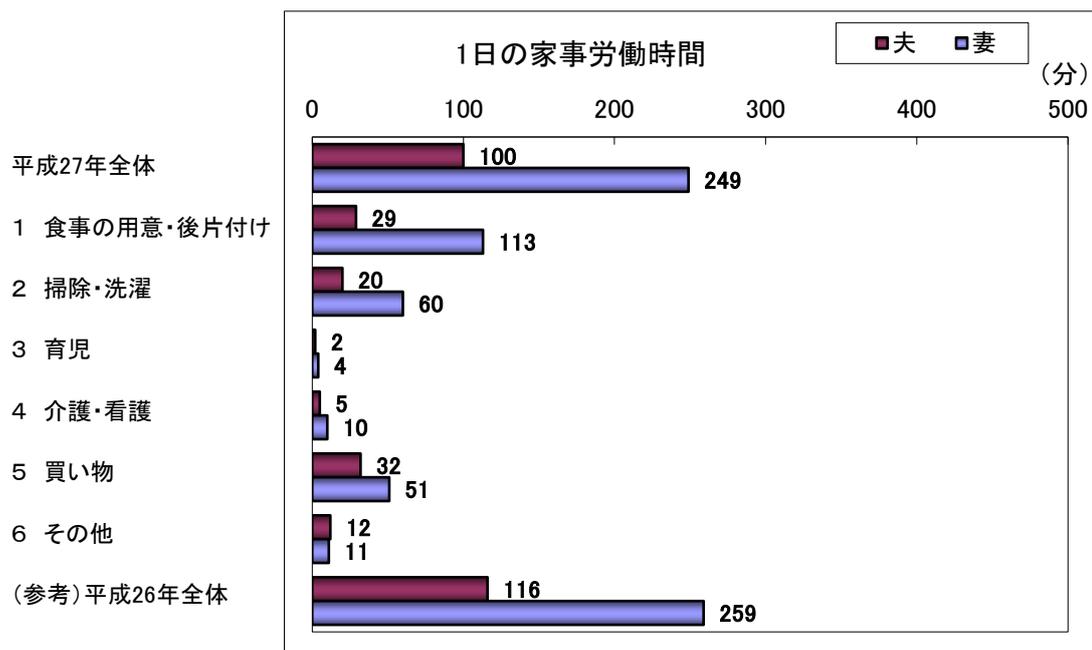
③妻のみ仕事を持っている世帯

- 妻のみ仕事を持っている世帯の「夫」の家事労働時間は94分、「妻」の家事労働時間は252分となっており、「夫」の家事労働時間は「妻」の37.3%となっている。
- 妻の1日の家事労働時間で最も長い時間を費やしているのは「食事の用意・後片付け」であり、次いで「掃除・洗濯」、「買い物」の順となっている。



④二人とも仕事を持っていない世帯

- 二人とも仕事を持っていない世帯の「夫」の家事労働時間は100分、「妻」の家事労働時間は249分となっており、「夫」の家事労働時間は「妻」の40.2%となっている。
- 妻の1日の家事労働時間で最も長い時間を費やしているのは「食事の用意・後片付け」であり、次いで「掃除・洗濯」、「買い物」の順となっている。

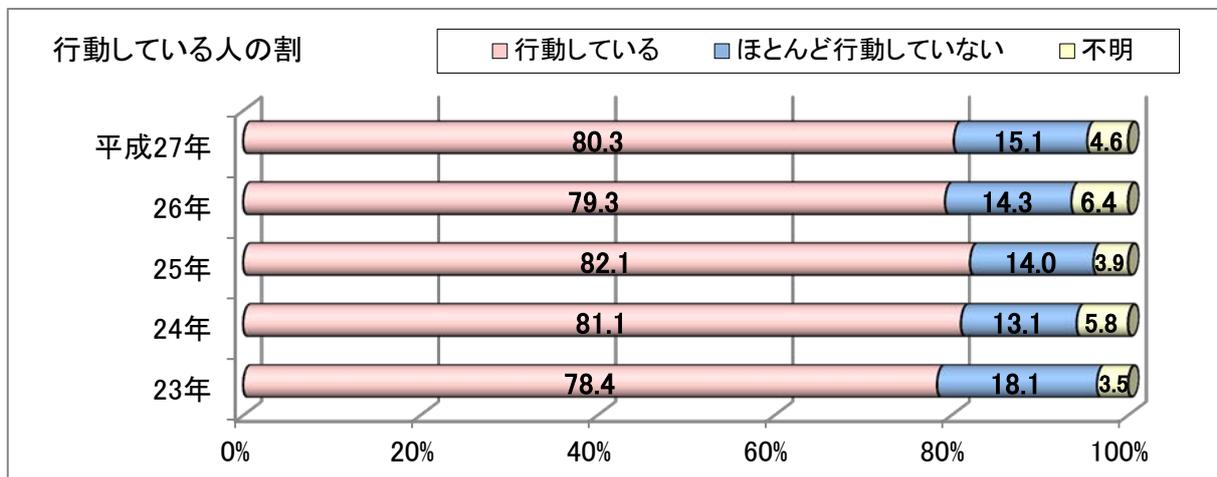


問3-4 地球温暖化防止への対応について

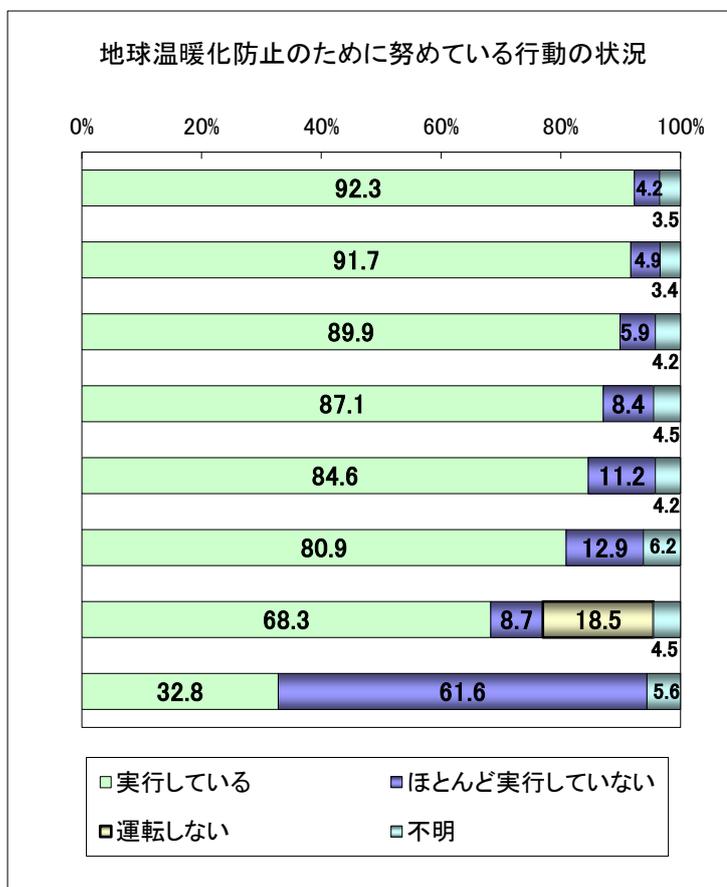
地球温暖化防止のため、普段どのような行動に努めていますか

地球温暖化防止のための行動に努めている人は約8割

○ 地球温暖化防止のための行動に努めている人の割合は、各調査項目の平均で80.3%となっている。



○ 行動の内容は、「食事は残さず食べるなど生ごみを減らす」が92.3%と最も多く、次いで「不要なときはテレビや照明などのスイッチを切る」が91.7%、「詰め替え用洗剤や古紙を再利用した紙製品など環境に配慮した商品を利用する」が89.9%となっている。

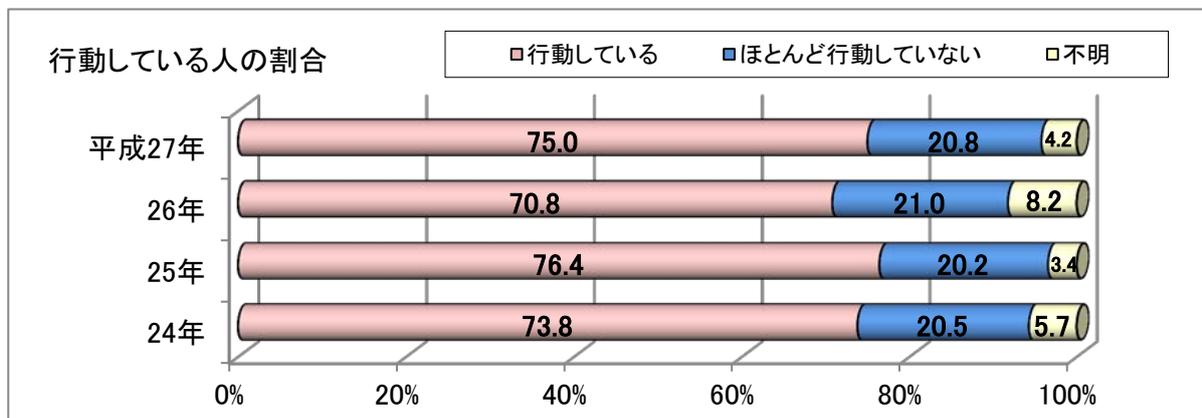


問3-5 ごみの減量化への対応について

ごみの減量化などのため、普段どのような行動に努めていますか

ごみの減量化などのための行動に努めている人は75%

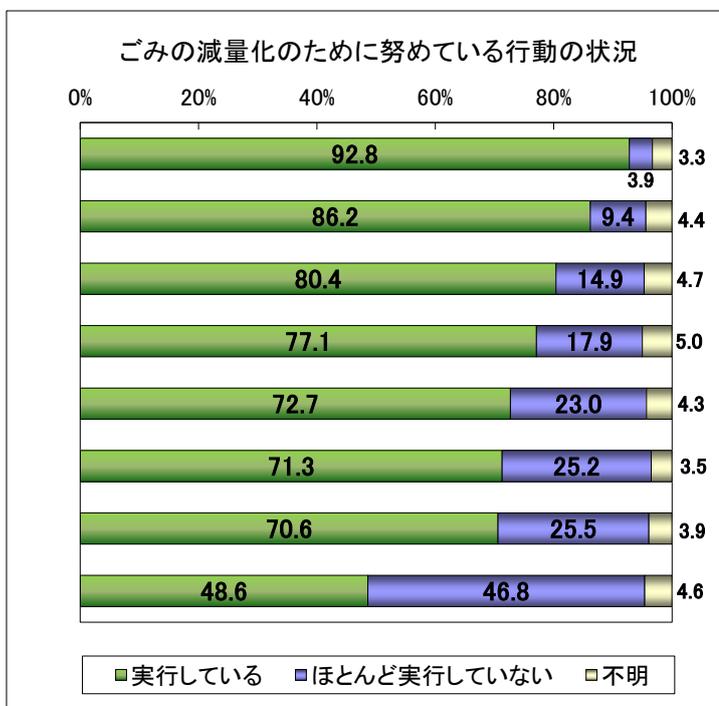
○ ごみの減量化などのための行動に努めている人の割合は、各調査項目の平均で75.0%となっている。



注：平成23年は調査なし。

○ 行動の内容は、「リサイクルやごみの分別収集に協力している(例えば、古紙、ビン、カン、牛乳パック、発泡トレイ、ペットボトル)」が92.8%と最も多く、次いで「リターナブル容器や詰め替え商品を利用している」が86.2%、「過剰な包装を断ったり、簡易な包装の商品を選んでいる」が80.4%となっている。

- 1 リサイクルやごみの分別収集に協力している(例えば、古紙、ビン、カン、牛乳パック、発泡トレイ、ペットボトル)
- 2 リターナブル容器(繰り返し使用される容器)や詰め替え商品を利用している
- 3 過剰な包装を断ったり、簡易な包装の商品を選んでいる
- 4 使い捨て商品の購入を控えている
- 5 再生品(リサイクル商品)を積極的に購入している
- 6 買い物のときは買い物袋(マイバック)を持参し、レジ袋は辞退している
- 7 コンポストなどにより生ごみを再資源化したり、水切りネットを使用して、生ごみの量を減らしている
- 8 リサイクルショップを利用している



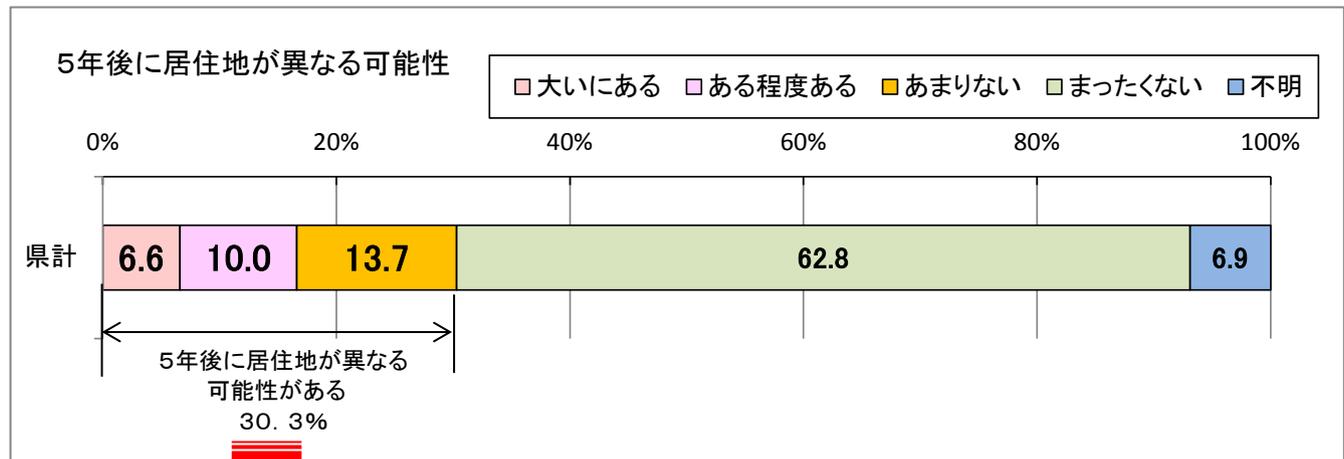
問4-1 近年本県の人口は、減少を続けていますが、県は今後どのような施策を進めていくべきだと思いますか。(3つまで)

○ 人口減少のなか特に重要と思われる施策は、「子育て世代の経済的な負担を軽減」することと考える人の割合が46.0%と最も多く、次いで「県内企業の採用活動の支援」を進めることと考える人の割合が33.2%となっている。

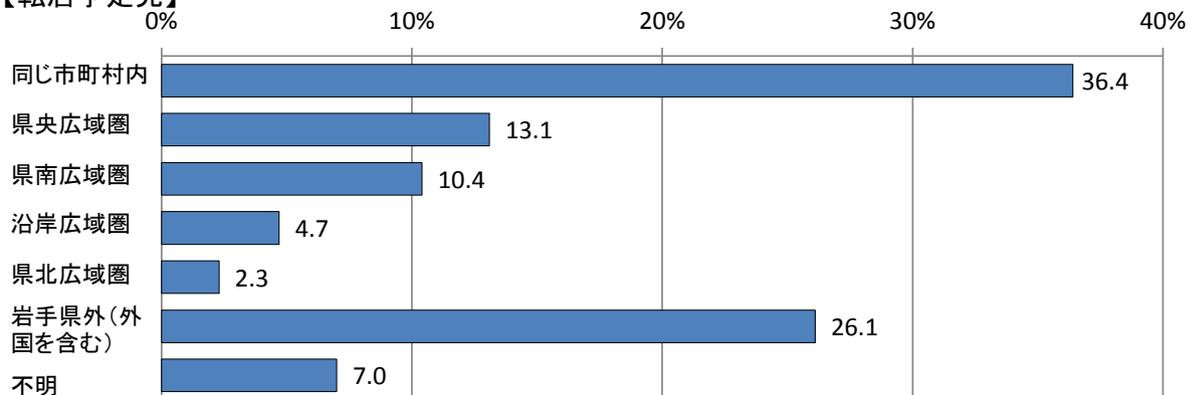


問4-2 5年後に居住地が異なる可能性はありますか。

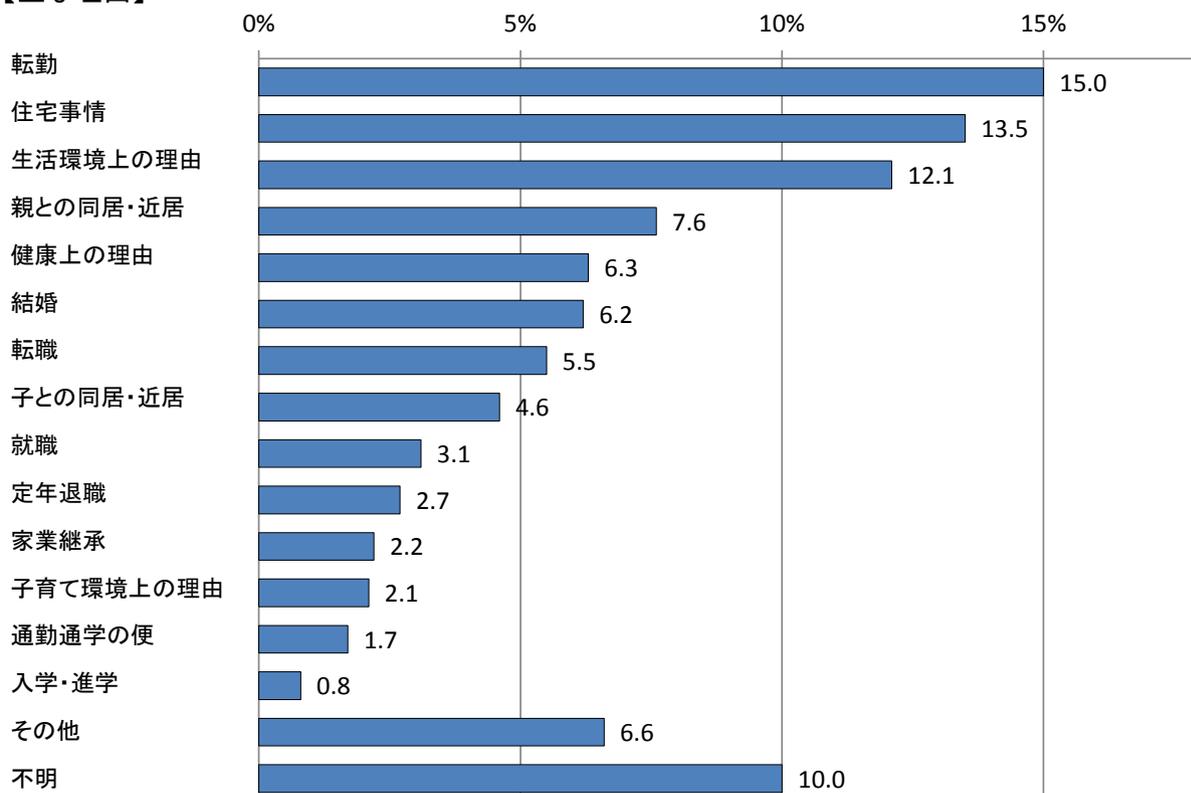
- 5年後に居住地が異なる可能性があると考える人は、30.3%となっている。
- 転居予定先としては、「同じ市町村」が36.4%である一方、「岩手県外」が26.1%となっている。
- 主な理由としては、「転勤」が15.0%、「住宅事情」が13.5%、「生活環境上の理由」が12.1%となっている。
- 5年後に居住地が異なる可能性がまったくないと考える人は62.8%となっている。



【転居予定先】



【主な理由】



(参考1)問2の各調査項目一覧(満足度、重要度、ニーズ度得点)

7つの政策	No.	項目	重要度	満足度	ニーズ度
①産業・雇用～「産業創造県いわて」の実現～	1	県内経済の活性化	4.135	2.507	1.629
	2	次世代を担う産業人材育成	4.258	2.412	1.846
	3	地域資源を活用した製品開発・販売	4.100	2.748	1.352
	4	魅力ある観光地づくり	4.025	2.686	1.339
	5	商店街のにぎわい	4.242	2.288	1.954
	6	中小企業の経営力の向上	4.233	2.474	1.759
	7	海外での県産品の販路拡大	3.604	2.726	0.878
	8	安定した就職環境	4.599	2.139	2.460
②農林水産業～「食と緑の創造県いわて」の実現～	9	農林水産業の担い手確保	4.265	2.272	1.993
	10	ニーズにあった農林水産物の産地形成	4.106	2.645	1.461
	11	農林水産物のブランド確立	4.172	2.742	1.429
	12	活力ある農山漁村の形成	4.007	2.631	1.375
	13	環境に配慮した農林水産業の経営	4.293	2.642	1.651
③医療・子育て・福祉～「共に生きるいわて」の実現～	14	適切な医療体制	4.817	2.929	1.889
	15	健康に関する相談・指導	4.436	3.101	1.335
	16	安心な子育て環境整備	4.658	2.573	2.084
	17	高齢者や障がい者に安心な地域づくり	4.687	2.542	2.145
④安全・安心～「安心して、心豊かに暮らせるいわて」の実現～	18	充実した地域防災	4.440	3.111	1.329
	19	犯罪への不安の少ない社会づくり	4.681	3.225	1.455
	20	交通事故の少ない社会づくり	4.682	3.064	1.618
	21	消費者トラブルへの適切な相談や支援	4.509	2.898	1.612
	22	購入する食品の安全性に不安を感じない社会	4.608	3.073	1.534
	23	移住や来訪による地域活力向上	4.385	2.752	1.633
	24	市民活動へ参加しやすい社会	4.003	3.123	0.879
	25	地域全体での青少年の健全育成	4.237	3.018	1.219
	26	個性と能力を發揮できる社会の実現	4.160	2.802	1.358
	⑤教育・文化～「人材・文化芸術の宝庫いわて」の実現～	27	学校と地域との協力	4.397	3.022
28		子どもの学力向上に向けた教育	4.404	2.978	1.426
29		人間性豊かな子どもの育成	4.619	2.973	1.646
30		子どもの体力向上	4.480	3.151	1.329
31		全ての子どもが学べる環境	4.472	2.968	1.504
32		自分に適した内容や方法で学べる環境	4.186	2.916	1.270
33		大学の地域社会貢献	4.164	2.962	1.201
34		郷土愛の向上に向けた取組	3.997	3.123	0.874
35		地域や学校での文化芸術活動	3.934	3.237	0.697
36		外国人も暮らしやすい地域社会	3.786	2.963	0.823
37		県出身スポーツ選手の活躍	3.998	3.233	0.765
⑥環境～「環境王国いわて」の実現～	38	地域での温暖化防止の取組	4.427	2.896	1.532
	39	ごみ減量やリサイクルの定着	4.492	3.477	1.015
	40	自然環境を大切に生活	4.568	3.209	1.359
⑦社会資本・公共交通・情報基盤～「いわてを支える基盤」の実現～	41	交通や物流の拠点に通じる道路整備	4.403	3.223	1.180
	42	災害に強く安心して暮らせる県土	4.648	2.803	1.845
	43	生活基盤整備が進んだ生活環境	4.485	2.709	1.776
	44	社会資本の維持管理	4.319	2.854	1.465
	45	公共交通機関の維持・確保	4.442	2.766	1.676
	46	通信ネットワークの活用	4.014	3.171	0.843
平均			4.317	2.864	1.453

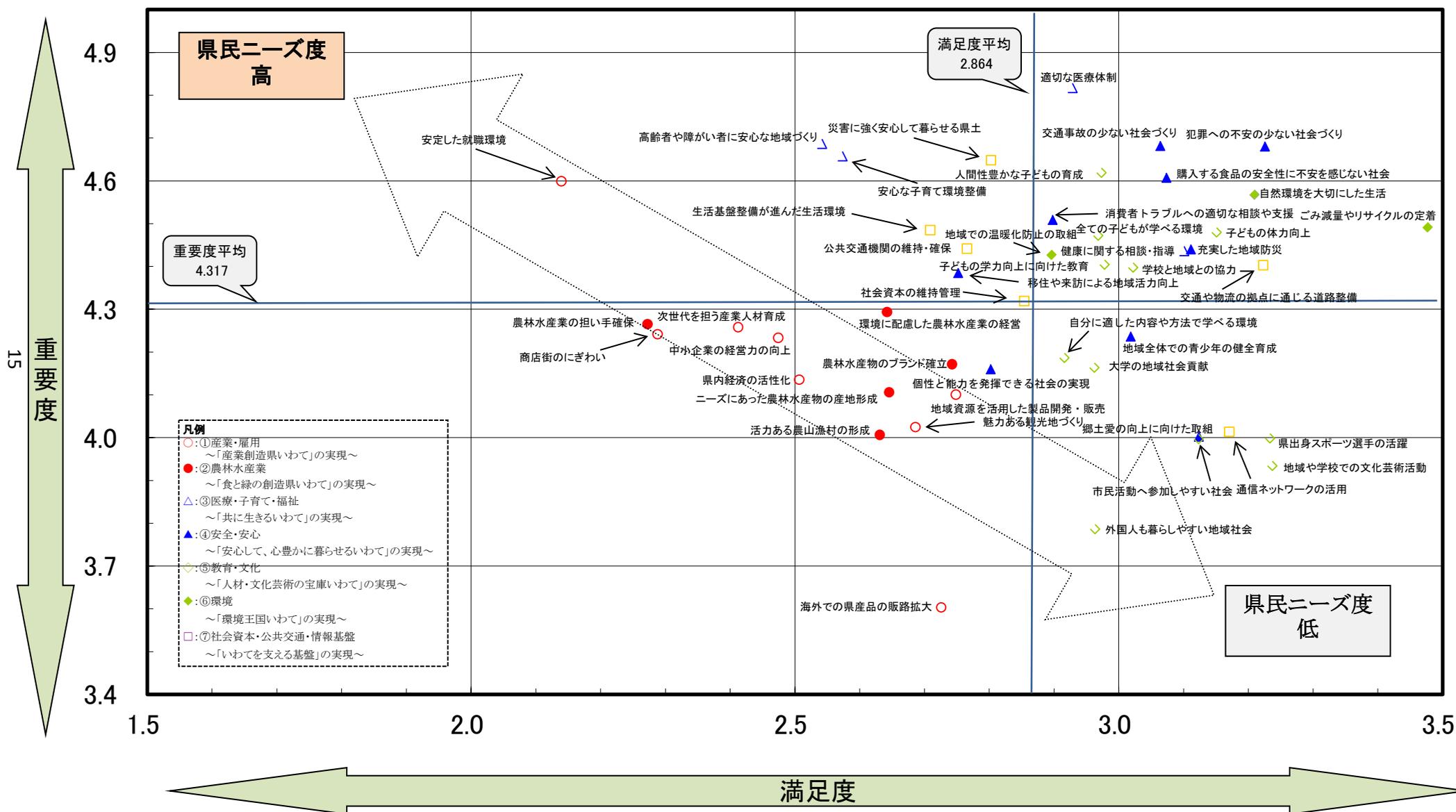
〔用語の説明〕

重要度(平均) : 「重要」を5点、「やや重要」を4点、「どちらともいえない」を3点、「あまり重要でない」を2点、「重要でない」を1点とし、それぞれの選択者数を乗じた合計点を、全体の回答者数(「わからない」、「不明(無回答)」を除く。)で除し、数値化したもの。

満足度(平均) : 「満足」を5点、「やや満足」を4点、「どちらともいえない」を3点、「やや不満」を2点、「不満」を1点とし、それぞれの選択者数を乗じた合計点を、全体の回答者数(「わからない」、「不明(無回答)」を除く。)で除し、数値化したもの。

ニーズ度 : 重要度(平均) - 満足度(平均)
(重要度が高く、住民の満足度が低い状態を(行政)ニーズが高いと読む)

(参考2)問2の項目別の重要度と満足度の関係



※ ——— は各項目の平均値(重要度:4.317、満足度:2.864)

(参考3)問2の各調査項目のニーズ度の高い順

No.	項目名	ニーズ度(=重要度-満足度)			(参考)	上段:重要度 下段:満足度			
		0	1	2		0	1	2	3
8	安定した就職環境			2.460					4.599
17	高齢者や障がい者に安心な地域づくり			2.145			2.139		4.687
16	安心な子育て環境整備			2.084			2.542		4.658
9	農林水産業の担い手確保			1.993			2.573		4.265
5	商店街のにぎわい			1.954			2.272		4.242
14	適切な医療体制			1.889			2.288		4.817
2	次世代を担う産業人材育成			1.846			2.929		4.258
42	災害に強く安心して暮らせる県土			1.845			2.412		4.648
43	生活基盤整備が進んだ生活環境			1.776			2.803		4.485
6	中小企業の経営力の向上			1.759			2.709		4.233
45	公共交通機関の維持・確保			1.676			2.474		4.442
13	環境に配慮した農林水産業の経営			1.651			2.766		4.293
29	人間性豊かな子どもの育成			1.646			2.642		4.619
23	移住や来訪による地域活力向上			1.633			2.973		4.385
1	県内経済の活性化			1.629			2.752		4.135
20	交通事故の少ない社会づくり			1.618			2.507		4.682
21	消費者トラブルへの適切な相談や支援			1.612			3.064		4.509
22	購入する食品の安全性に不安を感じない社会			1.534			2.898		4.608
38	地域での温暖化防止の取組			1.532			3.073		4.427
31	全ての子どもが学べる環境			1.504			2.896		4.472
44	社会資本の維持管理			1.465			2.968		4.319
10	ニーズにあった農林水産物の産地形成			1.461			2.854		4.106
19	犯罪への不安の少ない社会づくり			1.455			2.645		4.681
11	農林水産物のブランド確立			1.429			3.225		4.172
28	子どもの学力向上に向けた教育			1.426			2.742		4.404
12	活力ある農山漁村の形成			1.375			2.978		4.007
27	学校と地域との協力			1.375			2.631		4.397
40	自然環境を大切にしたい生活			1.359			3.022		4.568
26	個性と能力を発揮できる社会の実現			1.358			3.209		4.160
3	地域資源を活用した製品開発・販売			1.352			2.802		4.100
4	魅力ある観光地づくり			1.339			2.748		4.025
15	健康に関する相談・指導			1.335			2.686		4.436
18	充実した地域防災			1.329			3.101		4.440
30	子どもの体力向上			1.329			3.111		4.480
32	自分に適した内容や方法で学べる環境			1.270			3.151		4.186
25	地域全体での青少年の健全育成			1.219			2.916		4.237
33	大学の地域社会貢献			1.201			3.018		4.164
41	交通や物流の拠点に通じる道路整備			1.180			2.962		4.403
39	ごみ減量やリサイクルの定着			1.015			3.223		4.492
24	市民活動へ参加しやすい社会			0.879			3.477		4.003
7	海外での県産品の販路拡大			0.878			3.123		3.604
34	郷土愛の向上に向けた取組			0.874			2.726		3.997
46	通信ネットワークの活用			0.843			3.123		4.014
36	外国人も暮らしやすい地域社会			0.823			3.171		3.786
37	県出身スポーツ選手の活躍			0.765			2.963		3.998
35	地域や学校での文化芸術活動			0.697			3.233		3.934
							3.237		